

令和3年度

私費外国人留学生入試

【人間学群 心理学類】

区 分	標準的な解答例又は出題意図
「小論文」問題 1 (英語)	<p>1. 「小論文」問題 1 (英語) 出題意図</p> <p>1-1. 問題文の選定・出題理由</p> <p>問題文は、2020 年に The Healthy に掲載された、Marissa Laliberte による“Why a little forgetfulness is actually a good thing”の一部を抜粋・改変したものである。本誌は学術誌ではなく、一般対象者向けに学術的見解を紹介している。問題文は、心理学における重要なトピックである記憶に関する内容であり、また文章の難易度の面からも、外国人受験生にとって適切なものになっていると判断し、選定した。</p> <p>問 1 は、問題文の記憶の忘却に関する逆説的な見解に関して、該当する英文の理解と、日本語による表現力を評価することを目的としている。</p> <p>問 2 は、受験者が本記事の内容を正確に理解したうえで、問いの意図を理解し、自分の意見を明確かつ論理的に、適切な日本語でまとめられるかどうかを評価することを目的としている。</p> <p>問 1 下線部①について、その目的を本文の内容を踏まえて 150 字以内で説明しなさい。</p> <p><解答例></p> <p>常に変化する世界に生きる人間の脳内には、膨大な量の情報が氾濫している。脳は、日常の些末な情報を全て記憶しておくのではなく、将来的に良い決断を下せることを重視している。海馬のニューロンは、現実世界での意思決定の助けとなる重要な情報に焦点をあてるために、重要でない情報を手放すよう働きかけている。(147 字)</p> <p>問 2 あなたは、この文章の内容を誰に伝えたいですか。理由と合わせて 300 字以内で述べなさい。</p>

「小論文」問題 2 (日本語)

<解答例>

私は、些細な物忘れが多いことを気にしている友人に、詳細な出来事を忘れることも脳の正常な機能であることを示している本内容を伝えたい。その友人は、言いかけたことをふと忘れてたり、財布をしまった場所がとっさに思い出せなかったりすることを気に病んでいる。生活に大きな支障はないとはいえ、自分に何か問題があるのではないかと案じすぎることで、行動が消極的になっていることもあるかもしれない。物忘れは、重要な決断に必要な情報を選択し、些末な情報を切り捨てた人間の脳の働きとして正常な機能であることを理解できれば、友人は自身の物忘れを肯定的に受け止められ、より自分に自信が持てるようになると考える。(290字)

2. 「小論文」問題 2 (日本語) 出題意図

2-1. 問題文の選定・出題理由

この文章は 2010 年に発刊された島宗理氏の『人はなぜ約束の時間に遅れるのか：素朴な疑問から考える「行動の原因」』の内容を抜粋、一部改変したものである。筆者は、行動の原因を、個体の内部へ帰属させることは誤りであり、個体と環境の相互作用として行動を分析することで、その原因を推定でき、現実の行動に関する問題は解決できることを指摘している。一般の読者を想定して書かれた文章であり、誰もがなじみやすい話題を、心理学における一つの領域である行動分析学に基づいて、平易な日本語で書かれていることから、問題文として適切であると考え、選定した。

問 1 は、「科学的な根拠がないのに血液型性格診断が世の中に浸透している理由」を説明させることにより、日本語の読解力および表現力を評価することを目的としている。

問 2 は、「なぜ私たちは自分や他人の性格について語るのか。」を日常的な具体例を挙げた上でその考えを述べさせることにより、日常生活上の事象を基にした論理的思考の展開力および論述力を評価することを目的としている。

問 1 下線部の「科学的な根拠がないのに血液型性格判断が世の中に浸透している理由」を、本文中の内容をもとに、200 字以内で説明しなさい。

<解答例>

行動の原因に対する回答は、その解に正確性や妥当性がなくても、慣用的な言語行動として強化されているから。行動の原因を血液型診断に帰属した発言は、相手からの同意によって強化される。また、ネガティブに

受け取られやすい行動傾向に対する発言を、血液型診断を用いて表現すると相手を不機嫌にさせずに済む。更に、自分自身の行動の原因について簡単に解を手に入れることで、嫌な気持ちになることを回避できるから。
(195字)

問2 なぜ私たちは自分や他人の性格について語るのか。性格について話した結果、得られるメリットの具体例を挙げた上で、あなたの考えを400字以内で述べなさい。

<解答例>

自分や他人の性格について語ることが、他者の同意によって強化されたり、相手を不機嫌にさせずにすんだり、わからないことがわかったような気がすることで強化されるから。例えば、「鈴木さんって、マイペースだよ」という発言に、友人が「そうだよね。マイペースだから、人に何言われてもあまり気にしてなさそうだよね」と同意すると、『マイペース』という言葉の使用が強化される。例えば、食事中に口からぼろぼろモノをこぼす相手を見てイライラした際、「だらしのないなあ、ちゃんとしろよ!」と発言することで、自分のイライラが低減し、『だらしのない』という言葉の使用が強化される。また、「なんで、私は初めて会った人と会話するとき、つまらない話ばかりしてしまうのだろう」と自問した際、「やっぱり、わたしはシャイなんだ」と納得してしまうことによって、簡単に解を手に入れられ、『シャイ』という言葉の使用が強化される。(389字)